



ID: 1209

科目名	基礎技能(造形表現Ⅱ)【26年度生用】			コード			
英語表記							
担当教員名	石川 正一			年度	平成26年度		
基準年次	3年次	開講期	後期	単位数	2		
授業形態	演習	授業形式		履修形態			
授業概要							
本授業では基礎技能(造形Ⅰ)をさらに発展させ、総合的な保育活動を指導出来るための知識や技能を習得させる。そのために必要な素材の性質を活かした造形力やを養うとともに、指導者として必要な感性や表現力などを身につけさせる。							
到達目標							
自然素材と造形の関係について理解し、様々な道具や技法を駆使してもの作りができるようになる。							
授業計画							
第1回	オリエンテーション	授業内容の説明と竹の基礎知識について					
第2回	自然素材で作る	竹紙を漉く①・・・水に漬けた竹から繊維を取り出す					
第3回	〃	竹紙を漉く②・・・蒸煮、叩解					
第4回	〃	竹紙を漉く③・・・実際に漉く					
第5回	〃	竹紙で団扇を作る					
第6回	〃	竹紙でランプシェードを作る					
第7回	自然素材で遊具を作る	組木を作る①・・・デザインを考える					
第8回	〃	組木を作る②・・・電動糸鋸で作る					
第9回	陶芸をする	手びねりで茶碗を作る					
第10回	〃	板つくりでコップを作る					
第11回	〃	土鈴を作る					
第12回	草木染をする	玉ねぎで絞り染めをする					
第13回	七宝焼きをする	ペンダントを作る①					
第14回	〃	ペンダントを作る②					
第15回	まとめ						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
製作した作品や授業外学習の提出物及び定期試験で評価する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				20%			80%
授業外学習			テキスト、教材				
水彩画の課題を毎週提出する。			随時資料を配布する教材:土粘土、木綿の白布、七宝釉薬などの教材費が必要となります。				
参考書			受講生へのメッセージ				
・浜本 昌宏 『竹でつくる—子どもの発達と竹・笹の文化』民衆社 1984・山崎 和樹『草木染—四季の自然を染める』山と溪谷社 1997・石川正一『親子で楽しむ陶芸教室』資料冊子			製作が中心の授業ですので、動きやすく汚れてもよい複素で参加すること。				
キーワード							
自然素材、竹、木、陶芸、草木染、七宝焼き							